

道の世界遺産、その歩みの先に



あるものは...

「サンティアゴ巡礼道を1ヶ月半歩きおして何かが変わったか。と問われれば、別段何も変わらなかった。しかし、日本に帰っていき膨大な仕事を目の前にして、サンティアゴ巡礼道を歩きとおす以前は途方に暮れていたただけだったものが、小さな一歩を着実に重ねていけば、必ずや終点にたどり着くと確信するようになりました。」



平成24年1月7日、三重県立熊野古道センター開館5周年を記念して、三重県東紀州地域の5市町長ほか関係者をお招きしての記念式典並びに、5周年記念企画展の付属イベントシンポジウム「サンティアゴ巡礼道を歩いて」が行われました。

三重県知事からの祝辞には、「地域に根ざした活動拠点」として、これからはがんばってほしいとの言葉をいただきました。



東紀州地域5市町長集合!!  
 平成24年1月7日のシンポジウムの模様 (パナリストの黛まさか氏・尾田啓明氏・森岡朋子氏と川瀬センター長)

そして、昨年9月の水害からの復旧に努められている紀宝町長からも「地域の中心施設としての活動に期待」とのメッセージを送られ、当センターがこれからも地域を盛り上げていく為のなよりの励みとなりました。

終始なごやかに、時にユーモアを交えて繰り広げられたシンポジウムの中でも特に印象に残ったのが、黛まさかさんの言葉。

開館5周年を無事に迎えた  
 三重県立熊野古道センターですが、今後ともよろしく願います。

熊野古道センター  
 -24.3.10  
 KODO CENTER

熊野古道からのてがみ  
 22 通目

我が家の前を熊野古道が通っており、世界遺産に登録されると地元の大紀町阿曾でも話題になりました。私もグループで熊野古道を訪れ、その歴史の重みと石畳のすばらしさ、そして、参詣する旅人に感動しました。私は、山や古道再発見に取り組み十年になります。幾多の山や峠を整備し、山路、歴史をマップにまとめました。又、登山を企画して、多数の方の参加をいただいております。熊野道との関わりを紹介しています。



くまのみち-道標

南伊勢町から伊勢市へ行くには、道路より「やまとみち」の方が容易なため、漁村の古津・古和・錦・二郷村の集落から檜尾・古和・錦・藤坂・ツツラト等の峠を越え、生活の必需品をシマからヤマへと運んでいました。登口に「くまのみち」の道標と峠地蔵を建立し無事を祈りました。

筆リレー  
 次は大台町の吉田不二さん

小野 幸年さん  
 (大紀町)  
 登山グループ友山会代表  
 宮川流域ルネサンス協議会案内人

旅人の往来で木賃宿が点在する様になり、物々交換等、行商も盛んに行われ街道の要所であったと思われ、想像されます。おそらく熊野参詣の旅人と行商の方との交流もあつたと思われ、想像するだけでも素晴らしいです。南海からの行商人は、遠くは大和の吉野へサバ寿司の材料を運んでおり、その凄さには驚きます。宮川栗谷の霊符山太陽寺には大漁と安全祈願の思いが今でも続けられています。



胡桃にある古和峠登口の地蔵

花尻 薫からの季節のたより No.22 「蓮根の孔の役目は運び役、何を運ぶ？」



ハスの花

蓮根はハスと呼ばれている花のきれいな植物で、スーパーで見るとは地下茎と呼ばれる茎の一部にあたり、泥の中で育ちます。孔は9個で小さい孔が2個ある方が上です。泥の中では植物を育てる大切な酸素が不足するので、葉が吸収した酸素を、孔を通して茎や根に酸素を運ぶ役目を果たしているのです。名前はハスの実がなる筒の形が蜂の巣に似ているので、古代には蜂巣と言われていました。

「ハチス」が「ハス」と略されました。インドでは約2500年前から国民に愛されてきました。それは泥の中から生えて、その泥に少しも染まることなく美しく、気品のある花を咲かせるので、お釈迦様がハスの上に乗り悟りを開いたと言われています。今もインドでは国の花として尊重されています。中国では古くからおめでたい花とし、またその実や蓮根は不老長寿や幸福を与えてくれるからと喜んで食べたとされています。日本でも正月料理として大切な役割を果たしているのは、このような古代からのいわれを大切に保存して言い伝えているからです。約2000年前のハスの種が発芽して、花が咲いたと有名になった日本の大賀ハスは今でも国内の方々が花をつけています。ハスにも色々な種類があり、白花・紅花・黄花・八重花等があります。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング  
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」  
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

お風呂があたりは、カフェでゆったり

お車でお越しの方は...  
 国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車でお越しの方は...  
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車  
 ■松阪駅  
 一南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

★熊野古道センターニュースレター★  
 “熊野古道センターからのてがみ 2012年春号”

- 発行日:2012年3月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:野田
- 連絡先:  
 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4  
 TEL 0597-25-2666  
 FAX 0597-25-2667  
 Mail info@kumanokodocenter.com  
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

6000120310RN

4月6日(金)~4月8日(日)

第6回 熊野古道写真学校

桜咲く熊野を写そう を開催します!



熊野市神川町の桜

日本を代表する風景写真家、竹内敏信氏(日本写真家協会会員)を校長に、世界遺産である熊野古道やその周辺の桜咲く熊野を舞台として、写真のスキルアップを目指す写真教室を開催します。深い緑のイメージが強い熊野にも、春になると桜の花が所々で顔を覗かせます。ひっそりと咲く一本桜や一面に咲き誇る桜の饗宴など、春めいた熊野の美しい景観を写真に収めていただくことができます。初心者の方でもお気軽にご参加ください。

- ◇日時:4月6日(金)~4月8日(日)
- ◇集合:6日(金)午後1時30分 熊野市文化交流センター
- ◇定員:40名(要申込・先着順)
- ◇参加費:Aプラン 28,000円(2泊6食付)  
Bプラン 12,000円(宿泊無し、2食付)  
※Bプランで宿泊が必要な方は、熊野市観光公社にてご案内します。
- ◇講師:清水重蔵氏、杉本恭子氏
- ◇締切:3月15日(木) ※定員に達し次第受付終了
- ◇場所:三重県熊野市の熊野古道や周辺の桜咲く風景など
- ◇申込先:熊野市観光公社 TEL:0597-89-2229



平成23年度

フォトコンテスト結果発表!!



写真左:【とっておき部門 最優秀賞】杉本光朗さん「七里御浜に響く」  
写真右:【お気楽部門 最優秀賞】岩橋久雄さん「絶景よ!」

5回目となった熊野古道フォトコンテスト。多くの方にご応募いただきありがとうございます。風景や祭りを通じて「東紀州の四季」をテーマに、写真家・竹内敏信氏を審査委員長に迎えた【とっておき部門】と、「笑顔DE東紀州」をテーマに東紀州内での思わず微笑んでしまうような写真を募集した【お気楽部門】に入賞された作品を発表致します!

とっておき部門	最優秀賞	杉本光朗さん 「七里御浜に響く」	他、入選7名
	優秀賞	小林良美さん 「雪の横垣峠」	
	熊野古道センター賞	織田輝準さん 「迫り来る大きく青い波」	
お気楽部門	最優秀賞	岩橋久雄さん 「絶景よ!」	他、優秀賞4名
	優秀賞	※詳しくは熊野古道センターHPでご確認いただけます。	

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ 10万人の参詣道環境保全活動参加ツアー。追加開催

紀伊山地には、自然崇拜を起源とする神道の霊場「熊野三山」、中国から伝来した真言密教の霊場「高野山」、山岳信仰の聖地であり修験道の霊場である「吉野・大峯」という三つの霊場と、そこに至る「参詣道」があります。現在、世界遺産は936件ありますが、『信仰の道』として登録されているものは、他にスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路だけで、世界に2例しかない貴重な資産です。道の大部分は幅2メートル前後と狭く、石畳や階段となっている部分もありますが、多くは山中の土道です。世界遺産の文化を育んだ紀伊山地は、年間を通して雨量が多く、台風などの災害にもたびたび見舞われる地域でもあり、道の傷みも確認されています。「紀伊山地の霊場と参詣道」は、登録資産の総面積が約500haと広範囲にわたり、特に参詣道の総延長は300km超に及びます。こうした条件のなかで登録資産を大切に保全し次代に引き継いでいくためには、多くの人々の理解と協力により、継続性のある保全活動を展開していくことが重要となります。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の本質的価値を再認識し、次世代に良好な状態で資産を継承するため、平成21年度より和歌山県では「10万人の参詣道『環境保全』活動」を実施してきましたが、平成23年9月の台風12号による豪雨災害により、登録資産の一部が損傷を受けました。しかし、懸命の復旧作業により、和歌山を訪れる皆様に安全にお越しいただけるようになっています。県自慢の名所・旧跡は従前どおり、また宿泊施設・観光施設も平常営業に戻っておりますが、世界遺産である参詣道の保全活動が、以前にも増して重要となっています。そのため、和歌山県では例年実施している参詣道の環境保全ウォークを追加で開催することになりました。熊野古道を歩くなど、様々な目的で和歌山県を訪れることは、地域に元気と活力を取り戻す何よりの大きな力となります。ぜひ古道歩きを含む保全活動ツアーに参加して、和歌山に元気を届けてください。

前回の様子(熊野古道・赤城越 環境保全ウォーク) 平成23年10月29日実施



1 準備運動 2 土を持って 3 土入れ 4 お昼ご飯 5 ストレッチ 6 ゴール

イベント情報  
Event Info.

企画展 熊野灘の海運  
江戸期~明治期の廻船を中心に



熊野灘を航行した廻船の船給馬(木葉神社所蔵)

菱垣廻船や樽廻船、尾州廻船、赤須賀船など多くの廻船が熊野灘を航行していた時代を中心に、外から来る廻船と当地域との交流や、船で出入りしたモノから見る熊野灘沿岸の暮らしの一端を紹介します。

期間:平成24年3月3日(土)~平成24年4月8日(日)  
入場料:無料  
場所:企画展示室

展示予定資料:千石船の模型、廻船関係の古文書、船給馬、船乗りの道具等

付属企画① なるほど! 展示見学ツアー

熊野灘の海運がもっとよくわかる、展示の解説会です。  
◇日時:平成24年3月4日(日)・18日(日) 午前11時~11時30分頃  
◇場所:熊野古道センター企画展示室  
◇参加料:無料(申込不要)

付属企画② ペーパークラフトで千石船を作ろう

ペーパークラフトで熊野灘を航行した千石船(弁財船)を作ります。  
◇日時:平成24年3月18日(日) 午後1時~4時頃  
◇場所:熊野古道センター体験学習室  
◇定員:15名(要申込・先着順・小学生以上、小学校3年生以下は保護者同伴) ◇参加料:300円

体験学習

4/1(日) 東紀州の四季を味わう料理教室~あまごを味わう~

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。食材に、熊野市育生町赤倉で生産されている「あまご」を使用します。美しい熊野の自然が育てた清流の女王「あまご」をご賞味下さい。  
◇時間:午前10時~午後1時  
◇場所:体験学習室  
◇定員:24名(要申込)※応募者多数の場合は抽選になります。  
◇参加料:2,000円  
◇講師:村林新吾氏(相可高校食物調理科教師)  
◇受付:3月18日(日)午後5時まで



月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。  
◇日時:3月25日(日) ヒノキの花  
4月29日(日) ヒノキのカーネーション  
5月27日(日) アクセサリー  
◇場所:体験学習室  
◇定員:各10名(要申込・先着順)  
◇参加料:各1,000円 ※連続講座ではありません  
◇講師:NPO法人海虹路会員

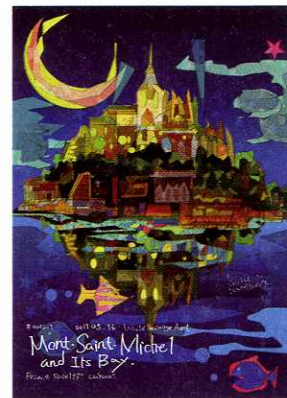


毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

事前申込不要!! 来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。  
◇時間:午後1時~3時受付  
◇場所:交流ロビー  
◇参加料:200円~1,500円(申込不要)  
◇講師:NPO法人海虹路会員、(週替わり) 川端氏、大形弥生氏、畑中昇氏



企画展 世界遺産図展



モンサンミッシェル

若手グラフィックアーティストの松田光一氏が、約200ヶ所の古き良き世界遺産の雄大さや美しさを独特な色彩で表現した絵画の作品展です。さあ!世界遺産アートの旅へ!!!

期間:平成24年4月14日(土)~平成24年5月13日(日)  
入場料:無料  
場所:企画展示室

付属企画① 「松田光一 ギャラリートーク」

作者の作品制作に至った過程や、世界遺産に対する思いなどを語るギャラリートークを開催します。  
◇日時:5月3日(木) 午後2時~  
◇場所:熊野古道センター展示棟  
◇定員:30名(申込不要・先着順)  
◇参加料:無料  
◇講師:松田光一氏



花の夏

付属企画② ワークショップ「いきいき! スケッチ大会」

スケッチブックと鉛筆を持って、目の前の風景との向き合い方を楽しみましょう!!  
◇日時:5月12日(土) 午前9時~11時30分 ◇講師:松田光一氏  
◇定員:30名(要申込・先着順)  
◇参加料:無料

講座

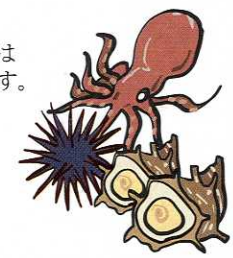
4/14(土) 熊野自然学校「春の野山の植物観察会」

野山を歩いて春の草花や小さな生き物などを観察し、ついでに野草のあつあつ天ぷら(野草パスタも計画中)などを食べて、春をまるごと満喫する企画です。  
◇時間:午前9時~午後1時  
◇場所:熊野古道センター周辺  
◇定員:小学生以上 30名(要申込・先着順) ※小学校低学年は保護者同伴  
◇参加料:500円(保険料・軽食代を含む)  
◇主催:熊野自然学校・三重県立熊野古道センター



5/5(土) 海辺の自然学校

干潮時にできる“潮だまり”へ行き、普段は見られない海の中の生き物たちと触れ合います。家族で磯遊びを楽しみましょう。  
◇時間:午前9時30分~12時30分  
◇場所:熊野市磯崎町 井内浦農村公園  
◇定員:子どもとその保護者 20名(要申込・先着順)  
◇参加料:500円(保険料・写真代を含む)  
◇主催:熊野自然学校・三重県立熊野古道センター



新しい古道の歩き方

3/25(日) 新しい古道の歩き方 「九鬼水軍の古里・九鬼を訪ねる」

◇時間:午前9時~午後3時 ※雨天中止  
◇場所:尾鷲市九鬼町  
◇定員:15名(要申込・先着順) ※山歩きに慣れた上級者向けのコースです。  
◇参加料:500円(資料・保険料を含む)  
◇講師:野田敦美氏



九鬼道見番所跡

※写真・イラストはイメージです。